

気候変動キャンペーン「Fun to Share」 環境

博報堂

気候変動キャンペーン「Fun to Share」は、環境省が2005年に始めた地球温暖化防止の国民運動『チーム・マイナス6%』の後継キャンペーンです。博報堂は、この国民運動の推進をサポートしています。

低炭素社会をつくっていかうという目標に向けて、生活者一人ひとりが毎日楽しく過ごしながら実践していただくことを狙いとしています。企業・団体・地域・国民が連携し、情報・技術・知恵を共有し、連鎖的に広げることでライフスタイルを変化させ、日本発で世界に広げ、低炭素社会を実現しよう、という取り組みです。



防災をテーマに制作「YOMIKOカレンダー」

環境 防災

読売広告社

広告会社ならではの視点で、毎年さまざまなテーマから制作しているYOMIKOカレンダー。2015年用には「もしもブックカレンダー」を制作しました。毎月使い終わったページを折りたたむと、翌月に起りうる災害に対処する方法が書かれたブックレットに早変わり。楽しみながら防災知識を身につけることができます。また、表紙が箱となり保存が可能。ゴミを出さない設計にもこだわりました。近年さまざまな災害に見舞われる私たちですが、意外なほど、もしもの時の対処法を知りません。少しでも多くの人に、安心して前向きな1年を過ごしていただきたい、という願いを込めました。



掃除で赤坂に接点を グリーンバード

環境

博報堂DYグループ

グリーンバード（以下、gb）は、元博報堂社員が表参道で立ち上げ、現在、世界に60以上の支部を有するお掃除プロジェクトです。赤坂へのオフィス移転を機に博報堂社員が中心となって「赤坂チーム」を立ち上げました。

gbには、ボランティアのハードルを下げるという独特のコンセプトがあり、ゴミを拾うことをベースにしながら、人と人とのつながりや、コミュニティへの参加を重視しています。赤坂チームは、毎月第2・4火曜日の8:30に集合し、地元や近隣企業の方とともに掃除をしています。

8年目を迎えた2014年度は、2015年1月に博報堂DYグループから約30名の有志が集まり、赤坂地区の掃除を行いました。



NEBUTA STYLE “KAKERA” ～ねぶた文化を灯しつづけるライト～

地域振興

読売広告社次世代モノづくり研究所

読売広告社次世代モノづくり研究所では、地域資源を活用したモノづくり、コトづくりで地域の活性化を支援しています。

NEBUTA STYLEは、竹浪比呂央ねぶた研究所とともに青森県の「ねぶた」をベースとした商品群を開発するデザインプロジェクト。「ねぶた」の彩色和紙の希少な端切れ＝「ねぶたのかげら」を再利用し、ねぶた独特の色・柄を楽しむ照明器具“KAKERA”を2014年7月に誕生させました。

このプロジェクトは、ねぶた師を目指す若者に生活基盤を提供し、後継者育成によるねぶた文化の持続性確保に寄与しています。



日本各地の自然・伝統文化・食を通じて地域固有の魅力を発信するProject Dining Out

博報堂DYメディアパートナーズ

地域振興

日本には、驚きと歓びに満ちた愉しみがたくさん眠っています。

そんな土地の魅力を、料理人、クリエイター、アーティスト、そして地域の人々とともに抽出、磨き、世界に発信する全く新しい活動体です。野外レストラン「DINING OUT」をはじめ、さまざまな取り組みで、日本の新しい愉しみ方を次々と提案しています。2014年度は、大分県竹田市にて実施しました。



生産者の声で野菜がしゃべるプロモーションツール「Talkable Vegetables」

地域振興

博報堂スタラボ／北海道博報堂／博報堂アイ・スタジオ

野菜に触れると、生産者の声で野菜がしゃべる店頭プロモーションツールを開発。育ててくれた農家の人の声で、野菜が自分の生い立ち(トレーサビリティ)や安全性、おすすめのレシピなどを紹介します。2014年9月、生産者から直接農産物を仕入れて販売する札幌市狸小路HUG マートにて体験展示と販売をしました。



つながりによる社会づくり、 275 (つなご) 研究所

地域振興

大広275研究所

大広275研究所は市民、NPO、企業など社会を構成するさまざまな主体がともに環境、まちづくり、教育、福祉など、多様な社会課題に取り組み、「良き社会」づくりを社会全体で考え実践していけるよう、支援をしています。

例えば、京都府とともに設立した「NPO 法人いのちの里京都村」では、現在、過疎化高齢化した農村を助成金やボランティアで支援するのではなく、農村部を都市部とつなぎ、多様なWIN-WINビジネスを創出することで農村の元気をつくることを目指して運営しています。

具体的には「京都村マーク」(農村再生に貢献する商品認定マーク)を冠する商品開発、農村と都市が協働するイベント開発等をサポートしています。

地域暮らしの今を伝える、 ローカルライフ・マガジン「雛形」

地域振興

オズマピーアール(博報堂グループ)

オズマピーアールが2014年度から運営するオウンドメディア「雛形」は、「移住のニュー・スタンダード」をテーマにしたローカルライフ・ウェブマガジンです。地域に住む若い世代の仕事や、生活を紹介し、「地域暮らしの進行形」を発信。地域と都市で暮らす人たちのタッチポイントになることで移住をサポートしています。



地域の未来を切り拓く学びと実践の場 「地域みらい大学」

地域振興

博報堂

地域課題解決のための実践的デザインスクールです。住民、行政職員、事業者等の意欲的な参加者がまちづくり、観光、防災、交通、女性活躍推進など、地域が抱える特定の課題に挑み、その解決プランを企画し、皆で実行します。2014年度は高知県佐川町、富山県氷見市、岐阜県御嵩町、北海道日高町、和歌山県新宮市ほかで開催しました。

